

森林物理学実験及び実験法 E223

森林水文学・山地保全学担当分

日程:

	A 班	B 班
山地保全学担当 W-124	4月20日(木), 21日(金)	5月18日(木), 19日(金)
森林水文学担当 S-174	4月27日(木), 28日(金)	5月25日(木), 26日(金)

(4月26日(水)、5月24日(水)は調整日(休み)です)

集合場所: W-124 ないし S-174 (日程を確認して間違いのないようにしてください)

集合時刻: 13:00

内容

山地保全学担当

森林環境計測の基礎となる山地地形の測量手法と地形図の作成手法を習得する。1 日目, トランシット(測量機器)の仕組みを理解し, その設置方法と水平距離・水平角の計測方法を習得する。2 日目, 総合館中庭において地形測量を実施し, その結果を整理して地形図(等高線図)を描く。さらに, 最新の測量機器(レーザー距離計およびデジタルコンパス)の仕組みを理解し, それらを用いた測量を体験する。1mm方眼紙(グラフ用紙), 筆記用具, 電卓(関数機能付きが望ましい), 定規を各自で準備すること。

森林水文学担当

森林環境計測の基礎となる気象要素や、樹液流速の測定法を習得する。一日目: 気象観測測器の原理を学び、計測プログラムを作成する。農学部総合館周辺において、温湿度環境や樹木の樹液流速を測定するための測器を設置する。翌日に渡って気象要素および樹液流速の変動を連続自記測定する。2 日目: 測定データを回収・整理し、各測定結果を解析する。筆記用具、電卓、レポート用紙を各自で準備すること。